

座 談 会

マーケットの予測精度を上げる
—専門知識と認知能力、性格的特性の役割—

と き 2022年3月23日(水)
と ころ 日本証券アナリスト協会会議室

《出席者》(敬称略、五十音順)

岩 谷 渉 平 CMA

(アセットマネジメント One 運用本部株式運用
グループ 国内株式担当ファンドマネジャー)

大 庭 昭 彦 CMA

(野村証券金融工学研究センター
エグゼクティブディレクター)

花 木 伸 行

(大阪大学 社会経済研究所 教授)

《司会者》

岡 田 克 彦

(関西学院大学大学院 経営戦略研究科 教授)

目 次

1. はじめに
2. 株価の予測能力
3. ファンドマネジャーの適性の見つけ方
4. おわりに

1. はじめに

岡田 実験行動ファイナンスという研究分野について、これまで深く知る機会がなかった読者は多いと思う。経済学やファイナンスの分野で用いられる実験は、直感的な経験的則性を記述する心理学実験とは異なり、先験的に得られた理論仮説

の下での人間の選択を記述するものである。この分野は、1980年代に実験室実験の手法を確立し、市場メカニズムの比較実験を行ったバーノン・スミス(2002年にカーネマンとともにノーベル経済学賞を受賞)が先駆者の一人である。その後90年代に入ると、ジョン・リストを中心としてフィールド実験が導入され、現在ではファイナン